体は、

国の押しつけから市民を

会館解体設計委託料の債務負担

た主な議

算特別委員会(田頭祐子委員長) 補平 月4日の本会議において予 正成 予 27 算 年 度 第 5 般 回会 計

計委託料」(43万8千円) などで 公民館の本館機能(事務室等) 理場の老朽化に伴い施設の状態 円)ほか、債務負担行為補正と を本町分館に移転するための 基礎調查委託料」(鄒万2千円)、 を調査するための「中間処理場 る経費」(2万1千円)、中間処 伴う「住民基本台帳事務に要す 顔認証システム機器の借上げに 対応するための経費(千魁万2 て設定された「福祉会館解体設 して、平成27~28年度にわたっ 「事務所移転作業委託料」(80万 個人番号カード交付用

の増額などが主であり、そこは 自治体にも不合理なシステムで を含んでいる。これは市民にも 顔認証システム機器」等借上料 ら人権侵害の可能性が指摘され 評価できる。しかし、専門家か あり、賛成できない。 ている「個人番号カード交付用 直接、市民と関わり合う自治

反対討論 (要旨) 原案のとおり可決しました。 採決の結果、起立多数により、

給付、民間保育所等の運営経費 今回の補正予算は、諸手当や

市

11月24日の本会議では、起立

倫子(生活者ネット)

て、

など市の施設の電気料金不足に 審査を行いました。 に付託し、11月17日の委員会で 歳出予算の主な内容は、庁舎

賛成討論 (要旨) 水上洋志(日本共産党)

また、福祉会館の閉館にあたっ ないよう、慎重な運用を求める。 配慮することや、情報漏えいが 思やプライバシー保護に最大限 を求める立場から、利用者の意 マイナンバー制度の凍結・中止 認証システム導入については、 う個人番号カード発行の際の顔 しかし、マイナンバー制度に伴 ており、反対するものではない 増設などに関する予算など、市 民生活に必要な予算が計上され 福祉会館の解体費用や保育園 代替施設を万全にすること

祉会館の早期完成に向け、福祉 を強く要望する。 賛成の理由の1番目は、新福 (要旨) 渡辺ふき子(公明党)

必要な手続きは行わないように 守る役割があるはずである。 不

求める。

中山克己(自民党小金井)

助等、待機児童解消や保育関係、 指定管理の利点を生かしたサー 支援センター指定管理委託料も に要する経費の充実、児童発達 価できる。ほかにも、保健衛生 種手当、自立支援医療・更生医 害者手当や難病者福祉手当の各 価する。対象者増に伴う特別障 児童への手当等の充実を高く評 遇改善や保育サービス向上の補 ビス向上が期待でき、賛成する。 ある方に寄り添った点も高く評 療給付、介護給付等、障がいの 修費や賃借料補助、保育士処 平成28年開設の保育園2園の

関 保 する条例 (議員提案) 護

を行いました。 生文教委員会(渡辺ふき子委員 24日、9月10日、18日、11月10 長)に付託し、6月12日、8月 3月25日の本会議において厚 19日の計6回にわたり審査

とを目的として、 籍する乳幼児の保護者に対して、 児童の健全な育成に寄与するこ することで格差是正に取り組み、 所得段階に応じた助成金を交付 議員から提案

種費の増額が図られていること。 給付、障がい者の自立支援医療 いること。3番目は、難病医療 るなど、保育環境を整備し、サ の新設や保育士の処遇改善を図 都や国の補助金を使って保育所 2番目は、本年開始の子ども・ 守るインフルエンザ等の予防接 給付の拡大や、高齢者の健康を ービス拡大の予算が計上されて 子育て支援新制度を進めるため 行為補正が組まれていること。 **貧成討論**(要旨)

露口哲治(小金井自民

って本補正予算には賛成する。 られ、当然の措置といえる。よ 伴う税収増も期待できたと考え たならば、緩やかな景気回復に ころだが、本来12月議会であっ 5億円の取り崩しが気になると ない。歳入で財政調整基金3・ とを考慮すれば、特段の問題は 121件中21件の補正増であったこ 10%減の額で平成27年度当初予 決算額に対して、画一的に一律 なっている。これは平成25年度 全体で約2千万円の増額補正と 算として計上したこと、さらに 光熱水費の不足が見込まれ、

可外保育室等入所児童 者助成金の交付に

しました。 本条例は、認証保育所等に在

行わず、先送りしてきた市の

の問題を認識しながらも議論を

任で取り組むよう強く要望する。 応が原因である。早急に市の責

き審査を行いました。 このため、今定例会中も引き続 き事情が判明したため、9月18 否決しました。 採決の結果、起立少数により、 日に再審査(委員会で再度審査 案のとおり可決すべきものと決 しなおすこと)と決定しました。 定しましたが、改めて審査すべ て、9月10日に一旦採決し、原 11月24日の本会議では、起立 なお、委員会での審査にお

賛成討論 (要旨)

られている。本条例は速やかに 予算も過剰であり、本条例案は、 また、市によって見積もられた 決されると、市長から「予算的 員会で半年の間議論されてきた 採択を受け、議員提案により委 可決すべきである。 代の経済的負担の軽減こそ求め る」と市長は言うが、子育て世 このままでも実現可能である。 た。議会に対し不誠実である。 に実現できない」と発言があっ 本条例案が厚生文教委員会で可 「保育料を上げて格差を是正す 市民から提出された陳情書の 関根優司 (日本共産党)

反対討論 (要旨) 岸田正義(市議会民主党)

が多く、8千76万円と多額な財 また、条例案細部に不確定な点 この問題は保育施策全体を見据 策の必要性は大いに認めるが、 綱で定めているため条例の必要 がある。多摩26市ではこれを要 源の裏付けもなく実効性に疑問 えた広い視野の中で考慮すべき。 性に疑問があるが、それは、こ 公的補助の格差是正や多子軽減 認可保育所と認可外保育所の

> 自:自由民主党小金井市議団 共:日本共産党小金井市議団

民:小金井市議会民主党 リ:リベラル保守の会 緑:緑・市民自治こがねい 改:改革連合

公:小金井市議会公明党 議 結 生活者ネットワーク 議 小:小金井自由民主 :賛成 ×:反対 △:退席 議:議長(原則、採決には加わらず) :議員として在籍せず(※) 決 自自自自自共共共共公公公公民民リリ 公譲辺ふき子 結 関根 板倉 鈴岸田 百渡 迎 宮下 田頭 坂井えつ子 即:委員会付託を省略し本会議で採決 篠原ひろし 遠藤百合子 紀 由紀子 託 果 厚:厚生文教委員会 総務企画委員会 建:建設環境委員会 予:予算特別委員会 真也 倫子 大三 予 00000 平成27年度小金井市一般会計補正予算(第5回) 原案可決 総 $\times \times \times \times$ 00 0 議 小金井市個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例 原案可決 00 東京都市公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約 原案可決 小金井市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正す 00 ○議○ 原案可決 小金井市市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例 \times \times 第 平成27年度小金井市一般会計補止予算(第6回) 小金井市議会運営委員会条例の一部を改正する条例(議員提案) 小金井市児童発達支援センターの指定管理者の指定について 小金井市障害者福祉センターの指定管理者の指定について 小金井市立本町高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について 武蔵小金井南第2自転車駐車場外12施設の指定管理者の指定について 小金井市長の在任の期数に関する条例の訂正 (議員提案) 小金井市認可外保育室等入所児童保護者助成金の交付に関する条例(議員提案) 即 小金井市議会運営委員会条例の一部を改正する条例(議員提案)

※ 吹春やすたか議員と坂井えつ子議員については、選挙後となる第1回臨時会のみ賛否を掲載しています。

平成27年度小金井市一般会計補正予算(第7回)の撤回